

会議名	第1回宇部市産業振興計画推進委員会
日時	令和5年6月19日（月曜日）14時～16時
場所	宇部市役所3階 第3-4会議室
出席者 （敬称略）	委員13名（欠席5名） 事務局8名 （宇部市産業経済部2名、成長産業創出課1名、中心市街地活性化推進課1名、 商工振興課4名）
会議資料	・宇部市産業振興計画推進委員名簿 ・宇部市産業振興計画推進委員設置要綱 ・資料1 令和4年度重点施策の実績について ・資料2 令和5年度重点施策の取組について ・資料3 宇部市産業振興計画推進委員会専門部会について ・資料4 今後のスケジュールについて 座席表 ご意見アンケート
No.	会議内容
1	会長及び副会長の選出
2	令和4年度重点施策の実績について
3	令和5年度重点施策の取組について
4	産業振興計画推進委員会専門部会について
5	今後のスケジュールについて
主な議事内容	
<p>議題（1） 会長及び副会長の選出</p> <p>≪委員から自薦、他薦等の意見はなく、事務局一任の提案あり≫</p> <p>⇒事務局より会長は村上委員、副会長は林委員が就任することを提案</p> <p>⇒委員異議なし、会長及び副会長の決定</p> <p>議題（2） 令和4年度の実績について</p> <p>≪事務局より令和4年度の実績について説明≫</p> <p>⇒意見・質問等は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前の賑わい創出の人口の回復に向けて取り組んでいるが、コンベンションも力を入れて取り組む必要があると思うがいかがか。（委員） <p>⇒中規模なコンベンション誘致について助成制度拡充している。（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新山口のKDDI維新ホール、阿知須のきららドームのような大規模人数を収容可能な施設が宇部市にないことがネックとなっていないか。（会長） <p>⇒宇部市には宿泊施設があるので、宿泊については、宇部に泊まっていただき、山口宇部空港の利便性を活かしたい。（事務局）</p>	

・ベンチャーの支援について、こういった業種や相談内容が多いか把握しているか。(委員)
⇒DX 関連の相談内容が多い。(事務局)

・ベンチャー支援の個別支援件数の実績は7件ということだが、成果をどうPRしているか。(委員)

⇒7件は相談から創業に向けた個別相談に至った案件。UBEスタートアップやSNS、インターネットなどの媒体を活用して宣伝している。成功案件もPRしている。(事務局)

議題(3) 令和5年度重点施策の取組について

≪事務局より令和5年度重点施策の取組について説明≫

【重点施策1】成長産業の創出と育成

・ときわ公園チャレンジについて令和4年度から4社が実証事業を開始しており、うち1社は宇部に拠点を設置されたが、その他の企業については令和5年度どのような展開を考えているか。(委員)

⇒企業の実証内容を検証していき、取組について情報発信していくこととしている。(事務局)

・DXに関してY-BASEを活用した補助金制度が創設されたとあったが、この補助金の効果検証をする上で、審査ポイントは何か。(委員)

⇒審査員による審査を行い、補助金交付後も効果検証について企業より報告を受けることとしている。(事務局)

【重点施策2】経営基盤強化と事業継続の促進

(DX研究会、DX推進事業費補助金)

・小規模を対象としているのか?という疑問がある。まずデジタル化すらまなっていない状態であるので、そこの支援からしていったほうが良いのではないか。(委員)

⇒DX推進補助金でデジタル化初期段階を想定しているのでご利用いただきたい。(事務局)

・DX研究会の参加の年代、従業員規模はどれくらいか。(委員)

⇒平均すると60代くらい、従業員が5名程度の小規模事業者で顧客管理を手書きでやっているところも参加してもらっている。(事務局)

・DX研究会の内容実績について報告を受けているが、実装に向けた計画が良くても、そのまま立ち消えることが多い。計画しただけで終わらないようにしっかりサポートをやってもらいたい。(委員)

・伴走支援についてとても良い取組。研究会参加されていない市内中小企業へ浸透させていくことが課題ではないか。お声がけはどのようにしていくのか。今年度新規に参入される企業はどのように勧誘していくのか。(委員)

⇒既に参加されているグループ会社ですとか、サプライチェーン等につながっている企業から声をかけていきたい。またDXに興味のある企業がおられれば、事務局へご連絡いただきたい

い。(事務局)

・DX 補助金のデジタル化に向けた予算総額はいくらか。(委員)

⇒予算上は上限150万円で4件を予定。(事務局)

・DX の認知度上げるためにインパクトが必要なのではないか。増額するとインセンティブ働くのではないか。増額をご検討していただきたい。(委員)

⇒補助金の応募が多ければ令和6年度増額を検討する。(事務局)

(事業承継)

・事業者自身が頭に事業承継のことがあっても、実際に承継する段階にないと対応しないので、こちらから仕掛けていくのがよいのではないか。また、アンケートも良いが、事業者と密接な関係のある金融機関や会計事務所から情報提供してもらうのはどうだろうか。(委員)

⇒アンケートのやり方、例えば問いかけ方、対象者の選定なども極めて重要。株式会社 relay (リレイ) という会社の知見をいただき、やっていきたい。(事務局)

⇒金融機関としては、事業承継の情報は提供しかねる。オープンにはできない。相談会も引継ぎ支援センターと連携して実施することもあるが、相談会の案内資料がなくて動けないときもあるので、案内資料があると良いかもしれない。(委員)

⇒金融機関における事業承継に関する情報として、福岡県の支援センターよりも山口県の取り扱う案件は圧倒的に少ない。オープンネームでどこまでできるのか検証していかないといけない。(委員)

⇒情報をオープンにするのとクローズなやり方でかなり変わる。経済産業省の補助事業が採択されたならば、活用していけばよいと思う。(委員)

【重点施策3】産業を支える人材の確保・育成

・リスクリングに対する補助金の対象は、標準学習時間10時間以上という要件は時間が長く、受講者にとって厳しいのではないか。どういったことをやるかによって変動してもいいのではないか。(委員)

⇒各種セミナーの開催時間を検討し、単発ではなく、継続した学習想定で設定した。今年度初めての取組のため、やってみて検討する。(事務局)

・情報発信などに向けて市内の大学生・高校生などを主な対象としているのはなぜか。(委員)

⇒今後の人口減少を見据えていく中で、大学等が集積している本市で企業の情報を知ってもらい、就職してもらいたいと考えている。うべ企業情報ナビによる情報発信や中学生などのキャリア教育に取り組むこととしている。(事務局)

・最近の傾向として若者が県外へ出てしまう。県外へ出た若者が宇部市に戻ってくるために何かしら情報発信の取組が必要なのではないか。(委員)

⇒うべ企業情報ナビについては、県外へ出た若者が山口県に戻ってくる際に目に触れるように

県の就職情報サイトにリンクしている。(事務局)

【重点施策4】人が集う場や機会の創出

・県央連携に関する宇部市の情報発信に課題を感じる。山口市では看板が設置されている。圏域内での発信も必要。コロナ前まで交流人口を戻したいなら、イベントをやっただけでは厳しい。(委員)

⇒魅力的なイベントを計画しているので、関係部局と情報共有しながら取り組む。(事務局)

⇒一過性とならないように、近隣から人が来るような取り組みを期待したい。(委員)

・ウォークアブル化に合わせて、産業振興を織り交ぜながら今後の宇部市における商業の姿を見出したい。(委員)

・ウォークアブル化の際に、彫刻を十分に活用してもらいたい。(委員)

・コンベンションについてだが、宿泊はどうにでもなるのだが、問題は会場。開催するためには2年前には場所取りしないといけないが、現状公共施設は2年前に場所取りができない。もっと改善してほしい。(委員)

⇒委員会後、渡邊翁記念会館・文化会館について施設予約について確認したところ、『早期利用申請』について取り扱う基準があるとのこと。基準については、管理者等に確認してほしい。(事務局)

議題(4、5) 専門部会、今後のスケジュールについて

≪事務局より専門部会について及び今後のスケジュールについて説明≫

・第2回推進委員会で令和6年度施策への意見を取りまとめて、推進委員会は終わってしまうが、反映の結果について委員に対して提示するほうがよいか？(委員)

(全員挙手)

・2月に実施結果の会議を開いてほしい。(委員)

⇒予算公表と議会の承認と関係があるため、開催時期については事務局に一任してほしい。

その他

・意見なし。

以上